



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

あったかウェルねっとニュース 第11号

2008年12月15日発行

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

あったかウェルねっと 平成20年度総会及び学習会

平成20年5月31日 10:00~15:30

彩の国すこやかプラザ研修室にて「平成20年度あったかウェルねっと学習会&総会」が開催されました。(参加者48名)

総会報告 会長 坪井敏衛

平成20年度のあったかウェルねっと総会は、5月31日(土)に彩の国すこやかプラザで開かれました。県社協ボランティア・市民活動センター長の永田眞一郎様の御臨席のもと、世話人の和田さんが司会を、初雁さんが議長を務めスムーズに進行しました。平成19年度事業報告以下、20年度予算(案)まで全て承認されました。何点か報告します。



本ネットも8年目を迎え、多方面から揺るぎない信頼を得ています。その中で世話人の一部異動があり、新体制でのスタートとなりました。本ネットの要であった横田さんが事務局長から副代表になりました。代わりに脇さんが事務局長に就任しました。皆様のご協力をお願いします。二点目は、これまで本ネットが協力してきたフォローアップ研修が県社協主催になりました。三点目は、

夏の福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修の1講座を本ネットが担当します。そして、今年から各事業が実行委員会形式で行われます。

養成研修修了者の連携と資質向上の場として始まったあったかウェルねっとが、県社協や各市町村社協、関連団体と手を携え、地域福祉の向上に資するよう願ってやまない。決意を新たにした一日でした。

学習会報告

埼玉大学准教授 河村美穂氏から「自分らしく生きる」を



テーマにキースピーチを戴き、推進員からの事例発表では、関久子さん(1期新座市)と永田晶子さん(3期日高市)から高齢者理解についての活動や気づきについてのお話がありました。続いて、参加者が「推進員としてできること」をグループごと発表しあいました。参加者は、自らの生活と重ね合わせ、高齢化社会の背景を見据えた「地域福祉」と「協働実践」を学べたのではないのでしょうか。



熱心に聞き入る参加者

2008年度埼玉県福祉教育・ボランティア学習
推進員養成研修:第1日目導入をねっと担当

1. 「福祉って」
2. 「埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員活動の現状と課題」

- ・推進員研修を受ける前と受けてからの活動
- ・他団体との連携&これからの課題について
- ・寸劇「大きな大根」

様々な立場で活動している推進員が講師役を務め、「福祉って」のグループワークと、「推進員活動の現状と課題」のリレートークと寸劇を通して、「気づき」「協働実践」の大切さについて学びあいました。

蓮田市立黒浜西中総合学習(2年生) 6/12・26

「福祉って?ボランティアって?」「見えないうって?」「見えにくいって?」「聞こえないって?」

- 12日(学年全体学習&クラス別学習)
- 26日(クラス別学習&振り返り全体学習)

生徒感想:

- ・困ってる人を見かけたら気軽に声を掛けられそうな気がする。
- ・将来、障害者が役立つものを作りたい
- ・体験学習の大切さの再確認
- ・普段の暮らしの幸せを大切にしたい
- ・自分の「心の気づき」に目を向けたい
- ・学んだ事をこれからの生活に活かしたい



目をつむって手をあげよう

.....
教員向け 越谷市 社会福祉教育研修

7月28日

.....
坂本晃一

7月28日(月)に、市内教員約20名が参加し開催されました。学校が夏休み中の開催も

あり、教員は参加しやすいようでした。午前には市社協による「福祉体験依頼説明会」、午後には世話人会に講師依頼があった「福祉教育研修会」でした。世話人の松嶋さんは「視覚障害者の立場から」、私坂本は「小学校教員の立場から」実践教育と体験指導を行いました。体験ではペアになったのアイマスク体験を行い、ほとんどの参加者が初めてだったので、興味津々という様子でした。学習成果をぜひ各自の学校での実践に活かしていただければと思っています。

2008年度 川口市
福祉教育推進員 ボランティア 養成講座

日時: 8月18(月)・19(火) 10:00~16:00

会場: 川口市 青木会館 2F 中会議室 A

対象: 講座終了後、市内小中高等学校で教育推進員として平日活動できる方

主催: 社会福祉法人 川口市社会福祉協議会

内容: 「福祉教育について」脇美智子(世話人)
「聴覚障害について」山本美念子(世話人)
「視覚障害について」山崎道子(さいたま市)
「車椅子体験の模擬授業」
高橋キミ子・須田正子・横田八枝子(世話人)
「視覚障害体験&今後に向けて」

(川口市推進員)

参加者の感想

ただ講義を受けるだけの進め方ではなく、参加感を充分感じる進め方だった事とこれからのようにつな

がるのか考えながら興味深く参加できた。私達の生活が音に溢れていると改めて思いました。自分ができる事は何かをよく考えて見ようと思います。劇が大変楽しめました。小学生も集中し理解できるカリキュラムになっていて感心しました。



新聞から福祉と関係する記事をさがす

あったかウェルねっと

ふれあいセミナー2008 in 桶川
誰もが主役の街づくりへ 私たちができること

日時：10月26日(日) 10:00～15:10

会場：桶川市地域福祉活動センター3階
(桶川市社会福祉協議会)

内容：オープニングショー

ハーモニーギター同好会

基調講演 三義宗陽氏

(桶川市ボランティア市民活動ネットワーク代表)

「ボランティアから市民活動へ」

同情から理解・甘えから信頼と友情関係へ

共に生きる(論より証拠の体験コーナー)

昼食「高齢者食体験」&

企業ユニバーサルコーナー(音声機器他)

共に生きる(論より証拠の体験コーナー)

全体会「学校での福祉教育を地域の

底力でパワーアップさせるには？」

対象者：埼玉県民及び福祉に関心のある人

主催：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員
ネットワーク(あったかウェルねっと)

後援：埼玉県・埼玉県教育委員会・埼玉県
社会福祉協議会・桶川市・桶川市教育
委員会・桶川市社会福祉協議会

協力：池野通建・日本福祉サービス・
シティライツ(音声ガイド上映)・他



論より証拠の体験コーナー紹介

1. ミニ手話教室
2. 触地図
3. 紙粘土

4. 折り紙
5. 音声ガイド付き映像

6. 車椅子体験
7. 愛デア生活グッズ

8. 黄色い小旗

9. 音声標識ガイドシステム

10. 活字文書読み上げ装置(テルミー)

11. 読むべえ

12. 里芋作業所

13. 芽生えの会

14. 盲導犬

15. マイケアプラン

展示：おもちゃクラブ

東松山市PTAと推進員



参加者の感想

スタッフや一般参加者の垣根がなく、一緒に福祉教育を学び楽しんでいる姿はまさに地域福祉教育でした。そして、一人ひとりがパワフルであったかくて、つくづくいいなあと、明日からの仕事にパワーを貰った感じです。

障害を持たれている方、皆さんがとても明るく、いきいきとしていらっしゃるのが印象的でした。

生活を便利にするアイディアグッズが一番印象に残った。自分で作り出す発想に感動。

11月8日 世話人会での反省と今後の課題

- ・メイン会場のブースの参加者が少なかった
- ・「音声ガイド付き映画」はもっと説明がほしかった
- ・ひとつずつのブースに十分な時間がかけられなかった
- ・桶川市の推進員のパワーが全開した感じ
- ・セミナーが出来るか心配したが皆が一丸となって動き、成功させようという意気込みを感じた



埼玉県高校初任者研修 12月3日無事終了

北浦和埼玉県南教育センターで、ねっと世話人8名が講師をつとめました。アイマスク・ガイドヘルプの体験学習を87名の新任の先生方に体験してもらいました。

その後、豊かな福祉感を持って高校生の教育にあたってもらえることを主題に『講話』を実施しました。

参加者の感想

- ・「福祉は技術ではなく心」という言葉が印象的
- ・普段いかに視覚に頼った生活がよくわかった
- ・色んな角度から考え見る事が出来る様になりたい
- ・違いを認める事からのスタートの重要性

世話人会は、第2土曜日

毎月第2土曜日午後1:00から、彩の国すこやかプラザ2階県社協ボランティアセンター作業室にて、世話人会をおこなっています。

ねっと会員は、誰でもいつでも「世話人会」に、参加できます。出席できる方は、事務局宛、又は、県社協まで、事前にご連絡をお願いします。

ねっと世話人会1月の予定

(日時) 平成21年1月10日(土)

午後1:00~4:00

(場所) 彩の国すこやかプラザ2階

会費未納の方へ 振込先のお知らせ

ねっと会費(年1000円)未納の方は、次の振込先まで納入をお願いします。

振込先：埼玉りそな銀行武蔵浦和支店・普通預金

口座番号：5015782

名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

あったかウェルねっと

平成21年度 総会及び学習会

日にち：2009年5月9日(土)

会場：すこやかプラザ2F研修室

時間：10:00~16:00

県社協からの情報★★★

平成20年度9期「福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修」が終了しました

今年度の参加者84名(実数)

9期生の認定者数 66名

第1期~9期：県内認定推進員総数 731名

今年度も新たな推進員が誕生しました。

推進員の皆さんが、地域で御活躍されていることと存じます。

今年度の養成研修では、あったかウェルねっとのみなさんに養成研修の1コマを担っていただき、受講生から大変好評でした。

また、市町村社協によっては、推進員の活動が高く評価されていることもあり、市町村社協が独自に養成研修を実施するところも出てきました。

市町村社協では、推進員のグループ化を図ってきているところも増えてきています。

ぜひ、市町村社協と連携をとりながら推進員のグループ化を図り、推進員同士の横の連携を強化していただければと思います。

今後、教育改革により、総合的な学習の時間において、福祉体験の時間数が減る学校も出てくるのが予想されますが、今までどおり学校での児童・生徒、学生等への福祉体験を進めてもらうと同時に、今後は、地域での福祉教育の取り組みについて考えていただきたいと思っています。

あったかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉) Well Being(幸福)のWell(大切にという意味)です。私たちのネット愛称には、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたいとの願いが込められています。

ホームページ <http://www.geocities.jp/attaka17/>

編集後記

もう新米は味わいましたか？日本人の主食である米は神様からの贈り物であり、神様の命が込められているから「コメ」というのだそうです。そして稲は命の根っこだから「イネ」というのだそうです。そんな事を考えながらたべると白いご飯が愛おしくさらに美味しく感じられますね。

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

(愛称：あったかウェルねっと)

編集：あったかウェルねっと世話人会(情報担当)

連絡先：埼玉県社会福祉協議会 埼玉県ボランティア市民活動センター

(TEL: 048-822-1435 FAX: 048-822-1449)

担当：高山(VC@fukushi-saitama.or.jp)